

西宮市立甲陽園小学校

羽渕 弘毅

「主体的に学習に取り組む態度」を
駆動させる授業のしかけ

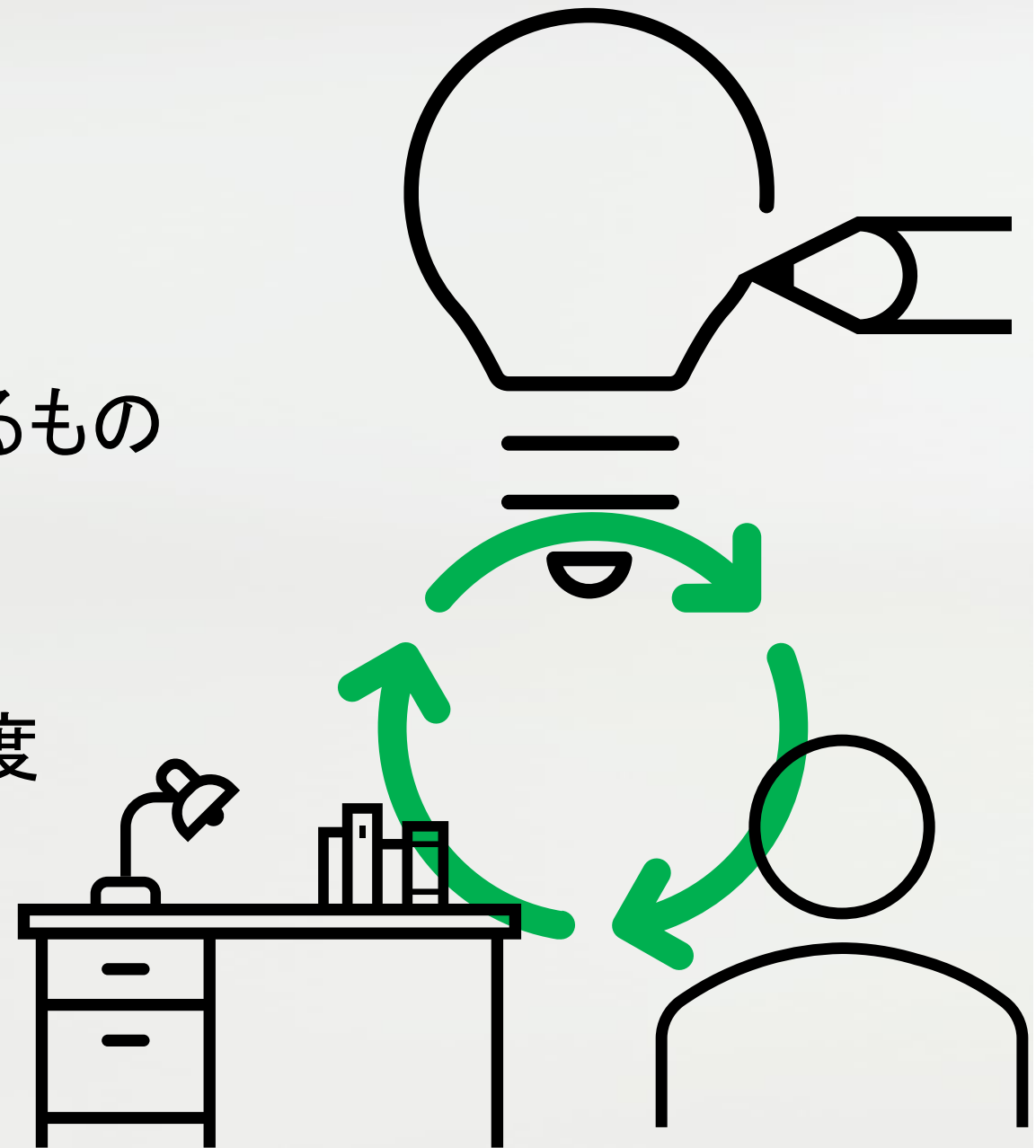
そもそも…主役は？

- 思考力・判断力・表現力が主役
- 思考力・判断力・表現力を支えるもの

→ 知識・技能

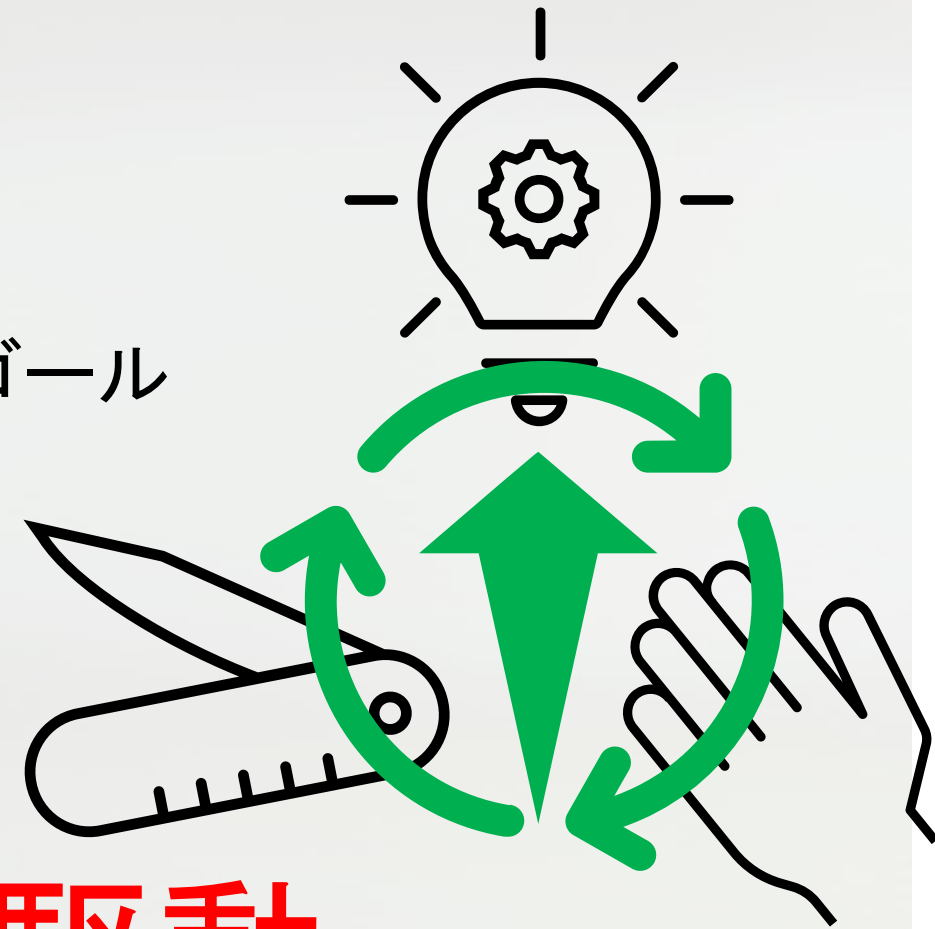
主体的に学習に取り組む態度

これらを **土台** とする



例えると・・・？

- ナイフを自分の手で持たないと解決できないゴール
- ナイフ・・・知識・技能
- 手・・・主体的に学習に取り組む態度
- 知識・技能と主体的に学習に取り組む態度を駆動させないと
クリアできない思考力・判断力・表現力を問うゴールをつくる



ナイフ？

- ナイフ【知識・技能】を自分の手【主体的】で持つ（ハラハラドキドキ）

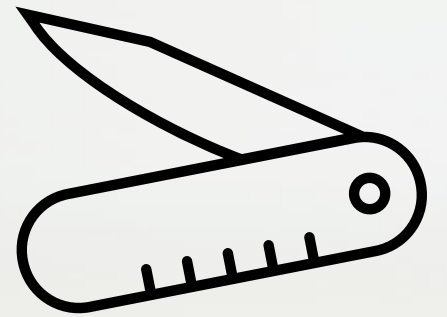
→ 本当に「切る」、「使う」

- 「使える」課題とゴール

→ 学校ではナイフを安全に使うための練習ばかりになっていないか？

- ナイフは自分の手次第で色々な活用ができる

→ ゴールに応じて使い分けたり、組み合わせたり…



小学校学習指導要領 第2章 第10節 外国語

- 第1 目標
- (3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め、**他者に配慮しながら**、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
- 「他者に配慮しながら」とは？

「他者に配慮しながら」とは？

- できそうでできない × 指導者への忠誠心を問うようなテスト
- 「自分が楽しい」、「発表できた」だけでは何か物足りない
- 台湾との交流での大失敗 × 予定調和、レール型の単元づくり
 - 指導者が単元のテーマを明示しすぎていないか？
 - 単元の余白や活動の引き算は？
- 動機や目的のベクトルが他者に向かうべき
 - 例：台湾の小学生を楽しませたい、紹介を通してもっと調べてほしい

授業の流れ 使用教科書:三省堂 Crown Jr. 5

- 文字に慣れ親しむ帯活動(唄、Story Time、Enjoy Reading)
- スモールトーク①「ペアトーク」
- スモールトーク②「こまっトーク」
- 活動①
- 中間指導、Writing
- 活動②
- ふりかえり(OPPAシート)

駆動させるしかけ

- 魅力ある課題や活動 「できるかどうかわからないからドキドキする」
- やってみる場面をつくる ※**単元の中でも**

4. 単元の指導と評価の計画 (全14時間) (・ 指導に生かす評価 ○ 記録に残す評価)

時間	学習内容	評価規準 (評価方法)			
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
第1次 ①	<ul style="list-style-type: none"> ゴールについて知る。 見通しをもつ。 ゴールを達成するために必要な力を考える。 	主・聞き手に分かりやすく伝わるように話そうとしている。(ポートフォリオ)			
第2次 ②～④	<ul style="list-style-type: none"> he や she を用いて第三者を紹介し合う。職業 	知・基本的な表現や簡単な語句を用いて、日本の有名人やキャラクターについて伝える技能を身につけている。(行動観察)			
第3次 ⑤	<ul style="list-style-type: none"> 台湾の小学生と交流をする。 グループで日本の有名人やキャラクターを紹介する。【中間評価】 	思・伝える事項が複数あるとき、聞き手に分かりやすく伝わるように複数あるものを伝えたいことを整理	第6次 ⑩	<ul style="list-style-type: none"> 単元の内容に関するペーパーテストに取り組む。 	知○第三者について伝える語句や表現の意味や働きを理解している。(ペーパーテスト)
第4次 ⑥	<ul style="list-style-type: none"> 次回の交流に向けて見通しをもつ。 必要な力について考える。 課題を見つける。 	主・伝える事項が複数あるものを伝えたいことを整理 トフォリオ)	第7次 ⑪	<ul style="list-style-type: none"> 台湾の小学生との2度目の交流をする。 個人もしくはペアやグループで日本の有名人やキャラクターを紹介する。【中間評価】 	思○伝える事項が複数あるとき、聞き手に分かりやすく伝わるように複数あるものの順番を決めたり、選んだりして、伝えたいことを整理して話している。(行動観察)
第5次 ⑦～⑨	<ul style="list-style-type: none"> he や she を用いて第三者を紹介し合う。できること、得意なこと 	知・基本的な表現やキャラクターについて	第8次 ⑫～⑭	<ul style="list-style-type: none"> 発表を改善する。 パフォーマンス課題に取り組む。教室で発表する。指導者に発表する。教室や自宅で録画・録音する。 パフォーマンス課題への取り組みについて振り返る。 	思○伝える事項が複数あるとき、聞き手に分かりやすく伝わるように複数あるものの順番を決めたり、選んだりして、伝えたいことを整理して話している。(行動観察、録画) 主○伝える事項が複数あるとき、聞き手に分かりやすく伝わるように複数あるものの順番を決めたり、選んだりして、伝えたいことを整理して話そうとしている。(行動観察、ポートフォリオ)

※毎時間「記録に残す評価」はしないが、めあてに向けた指導と「指導に生かす評価」を行い、活動させているだけにならないように留意する。

※パフォーマンス課題は、Microsoft Teams の「課題」を活用し、原稿やスライドファイル、音声データを指導者と児童でやりとりしながら単元全時間の中で授業や自宅で取り組む。

駆動させるしかけ

- 魅力ある課題や活動 「できるかどうかわからないからドキドキする」
- やってみる場面をつくる ※**単元の中でも**
- 言語化する仕組みをつくる
- 比べて、**気づける**ような活動をつくる
- 言語活動を**通して**、中間指導を行う
- もう一度やってみる場面をつくる
- ポートフォリオで達成度、大切だったことを振り返る機会をつくる
- ポートフォリオで児童の内なる声を聞く 【**指導改善**】

「どんな授業がいいのだろうか？」

- レール型？
- 放牧型？
- ガードレール型？
- 学びのハンドルを学習者に



学びのハンドル

- 評価に例えると

小学校 外国語教育 学習評価 ハンドブック

知識

交通のルール、運転の仕方

技能

実際に運転できる

思考・判断・表現

状況に応じて、
目的地へのルートを選択、整理する

主体的に学習に取り組む態度

目的地やルートの状況に
応じて運転しようとする態度

